



# Photo Report 魂燃ゆる 火消し

平成28年度小林市消防団夏季特別点検・消防操法大会

**訓練の汗と涙を この一瞬にかける**

7月17日、小林市消防団夏季特別点検・消防操法大会を消防団訓練広場で開催しました。夏季特別点検では、分列行進や通常点検を実施。号令のもと統率のとれた動きを披露しました。操法競技では、長期間にわたって朝夕訓練に励んできた成果を存分に披露。ピリピリとした緊張感が漂う中、迅速に火点に攻撃し、競技が終了すると会場からも盛大な拍手が送られました。

【結果】ポンプ自動車の部優勝：第10分団第6部（野尻地区） 第2位：第1分団第4部（小林地区） 第3位：第4分団第7部（小林地区）

小型ポンプ積載車の部優勝：第7分団第7部（須木地区） 第2位：第3分団第11部（小林地区） 第3位：第2分団第12部（小林地区）

小型ポンプの部 優勝：第7分団第5部（須木地区） 第2位：第3分団第10部（小林地区） 第3位：第2分団第2部（小林地区）

スティックを巧みに操り行う駆け引き。シュートのスピード感がたまらない

ホッケー  
グランドマスターズ日本代表  
もとむら ひろふみ  
本村 博史さん



一人黙々と練習に励む。半面反ったスティックで、ボールを力強くゴールに打ち込む

芝の上で相手選手と激しく体をぶつけ合いながら、スティックでボールを操り、相手のゴールを狙うスポーツ「ホッケー」。グランドマスターズワールドカップの日本代表として出場し、世界で活躍している人がいる。

本村博史さん、63歳。ホッケーに出会ったのは

高校1年生のとき。「中学まで野球や陸上をしていたこともあり足の速さには自信があった」。自分の長所が生かせるホッケーに没頭し、インターハイで日本一に輝いた。大学時代も、数々の大会で活躍を見せ、日本代表に選ばれるなどその功績は華々しい。卒業後は、高校の教師となり、生徒たちをインターハイなどの大舞台に導いた。

指導者として活動する一方で、現役プレイヤーとして社会人チームにも所属。しかし小林にはチームがなかったため、練習はいつも一人。「スティックを巧みに操りながら行う駆け引き。そして、シュートのスピード感がたまらない」。

大好きなホッケーだからこそ、たった一人の練習も苦ではなかった。そして5年前、マスターズ日本代表に選ばれた。

出場したワールドカップでは、外国人選手の「体格と練習環境の違い」に圧倒された。思うようなプレーができないこともあった。この差を埋めるために練習に励んでいる。

「継続こそが力。そして、年齢を重ねても、世界でまだ戦えるのは、家族、教え子などの支えがあり、環境にも恵まれたからこそ」。

感謝の思いをプレーし続ける自らの姿で表現するため、チームメイトから離れた場所で今日も一人、ひたむきに練習を続ける。

継続こそが力。年齢を重ねても、支えてくれる人たちのため世界で戦い続ける。

小林人  
こばやしびと  
Vol.59